

事業概要のご案内

2022 JA東京あおばレポート

令和3年4月1日～令和4年3月31日



芽吹かせよう ありがとうの和

ごあいさつ

日頃より、JA東京あおばの組合員・利用者の皆さまには格別のご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。

当JAは、「10年後のめざす姿」を掲げ、各地区青壯年部・女性部の代表者よりご意見を聴取し、「第9次中期経営計画(農業振興計画含む)」を策定しました。このレポートは、皆さまが安心して当JAをご利用いただけるよう、経営内容をご説明したものです。

「農業協同組合としての使命や存在意義」を再確認し、組合員と共に歩む事業運営を役職員一丸となってすすめてまいりますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



東京あおば農業協同組合
代表理事組合長

酒井 利博

プロフィール

創立	平成9年4月1日、JA板橋・練馬・石神井・大泉の4JAが合併し、「新しい青葉若葉が成長し、やがて生い茂り見事な大木となるように」「東京にいつまでも木々の青葉や緑を残したい」という願いを込めて『JA東京あおば』が誕生しました。
本店所在地	東京都練馬区高松 5-23-27
地 区	板橋区・北区・豊島区・練馬区
農 業	キャベツを基幹作物として、ダイコンやブロッコリーなど多品目が栽培されており、花卉・果樹・植木・盆栽なども生産されています。また、伝統作物の復活栽培にも取り組んでいます。
出資金*	21億 5,954万円
役職員数*	役員34人 職員378人(3月末退職者を除く)
組合員数*	28,172人(正組合員2,567人 准組合員25,605人)
子会社	1社(東京協同サービス株式会社)

*数値は、令和4年3月31日現在のものです。

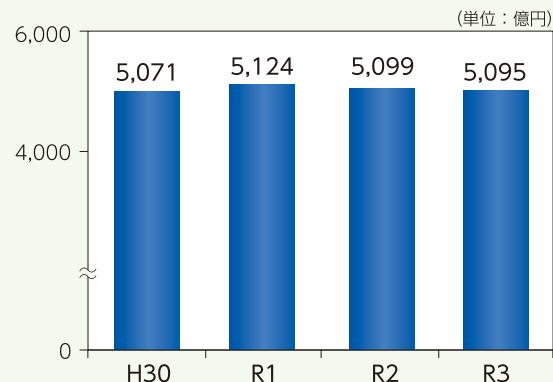
経営内容について

総資産	5,509億 7,098万円
組合員資本	376億 2,380万円
事業利益	7億 116万円
経常利益	10億 4,341万円
当期剰余金	8億 1,965万円

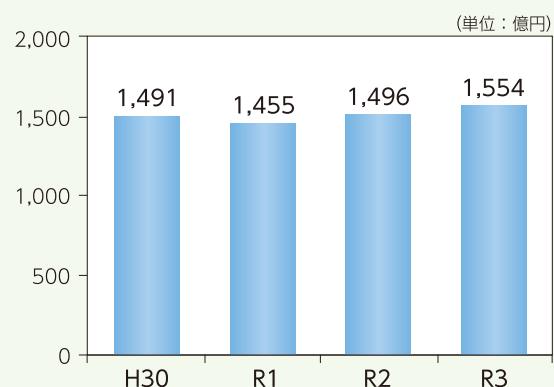
(令和4年3月31日現在)

主な事業実績

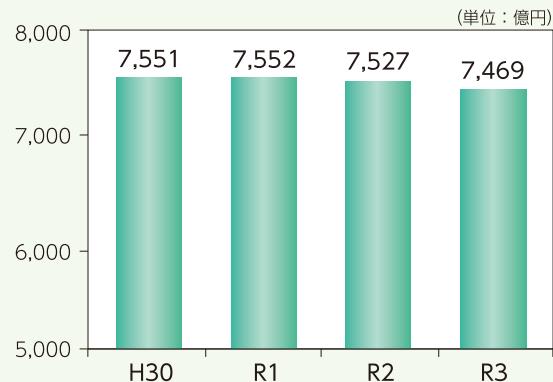
貯金残高の推移



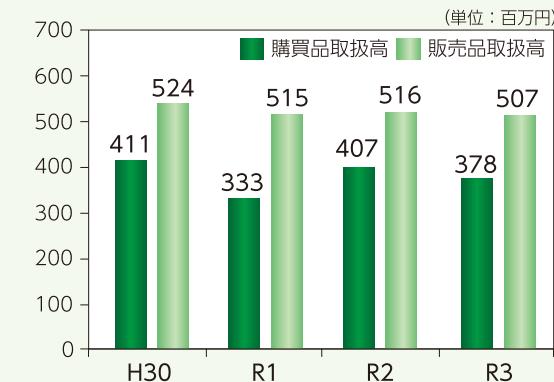
貸出金残高の推移



長期共済保有高の推移



購買品取扱高・販売品取扱高の推移



[注]本レポート中の金額は、単位未満を切り捨て表示しています。

経営の健全性について

16.83%

(令和4年3月31日現在)

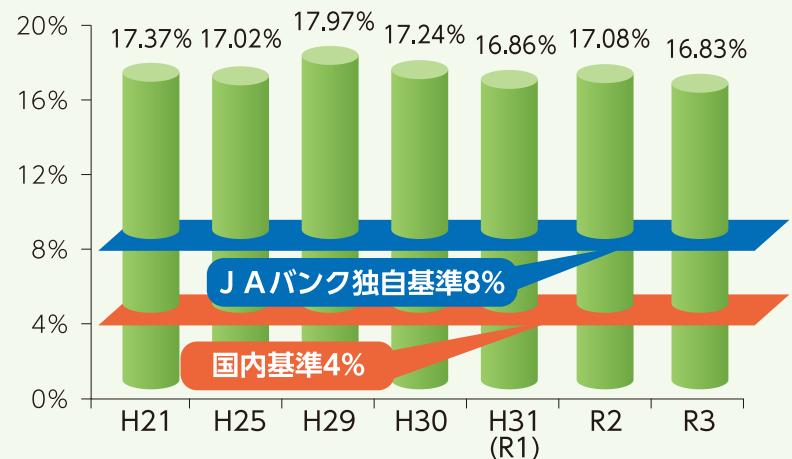
J A バンク独自基準 8%

国内基準4%に対して、国際統一基準である8%をJ A バンク独自基準として定め、健全性を高めています。

国内基準 4%

海外営業拠点を有しない銀行の自己資本比率基準は4%以上とするものです。

単体自己資本比率の推移



第9次中期経営計画(農業振興計画含む)(令和4年度～令和6年度)

J A 東京あおばの10年後の「めざす姿」を明確化したうえで、青壮年部・女性部の代表者より意見を聴取し、いただいたご意見等をふまえた計画を策定しました。また、これまでの J A 東京あおばの取り組みを整理し、継続・強化・改善したうえで、第9次中期経営計画(農業振興計画含む)を策定しています。

1. J A 東京あおばの10年後の「めざす姿」

1. 都市農業を守る

組合員と共に都市農業を振興し、農業・農地を次世代につなげ、都市農業の多様な機能が発揮されている姿

2. 組合員のくらしを豊かにする

職員一人ひとりが組合員の多様なニーズ・相談にこたえ、総合事業を通じた相談機能を発揮することで、組合員のくらしを豊かにしている姿

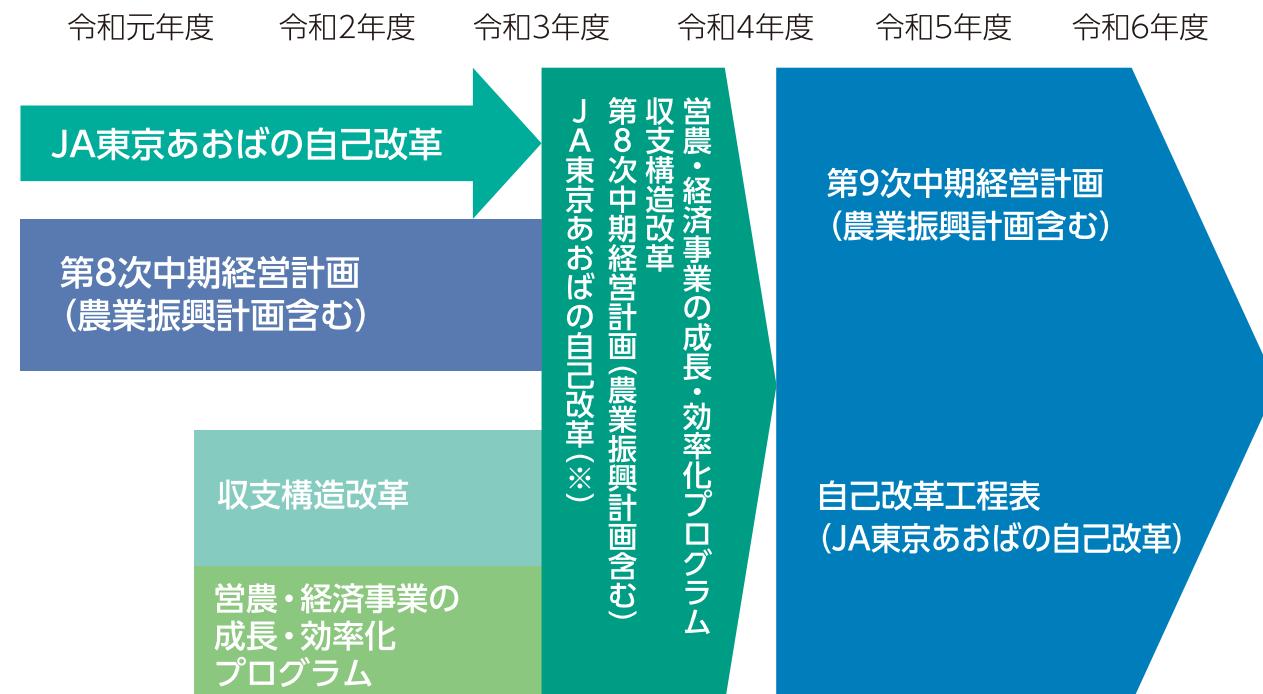
3. 地域の活性化に貢献する

総合事業を通じて、食と農を基軸とした教育文化活動を実践し、都市農業のファンが増えることで、地域の活性化に貢献している姿

4. 持続可能な経営基盤の強化

収益基盤の拡大、収益力の強化、業務の効率化を図り、さらなるガバナンス・内部統制の強化を進めたことで、持続可能な経営基盤が確立している姿

2. 第9次中期経営計画(農業振興計画含む)の位置づけ



※JA東京あおばの自己改革、第8次中期経営計画(農業振興計画含む)、収支構造改革および営農・経済事業の成長・効率化プログラムでの取り組み内容を、継続・強化・改善し、新たに取り組むことを整理したうえで、第9次中期経営計画に盛り込みます。

3. 第9次中期経営計画(農業振興計画含む)体系図

経営理念

わたしたちは、農業の豊かさ、人の和を大切にし、
地域になくてはならない存在をめざします。

ビジョン

わたしたちJAは、くらしのサポーターNo.1を宣言します。

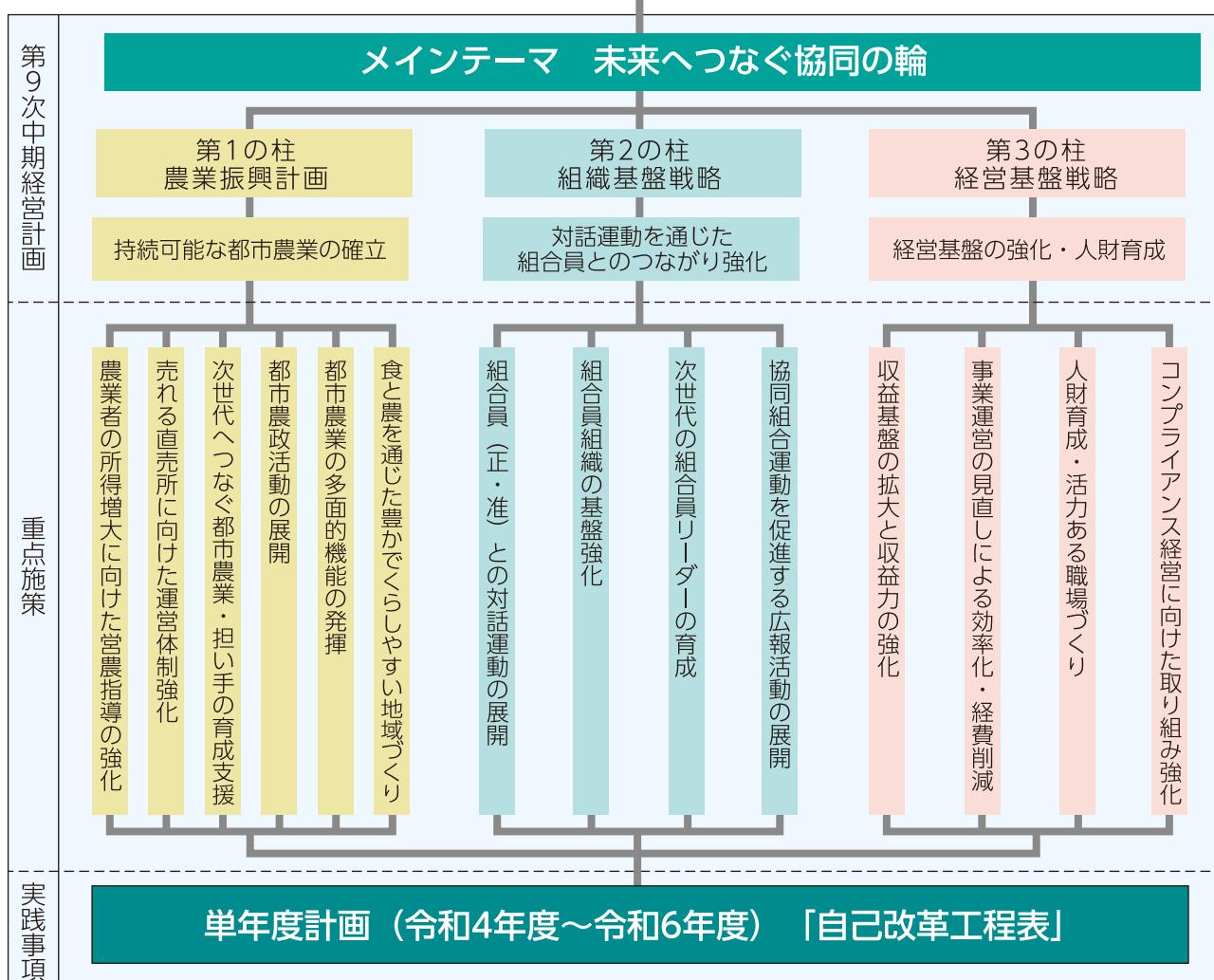
使命

- 1 都市農業を守る
- 2 組合員のくらしを豊かにする
- 3 地域の活性化に貢献する

J A 東京あおばの自己改革

- | | |
|---------------|-------------|
| 1 都市農業の振興 | 3 人づくり・人財育成 |
| 2 組合員とのつながり強化 | 4 経営基盤の強化 |

J A 東京あおばの10年後の「めざす姿」



4. 第9次中期経営計画(農業振興計画含む)一令和4年度～令和6年度一

【メインテーマ】～未来へつなぐ協同の輪～

第1の柱 農業振興計画－持続可能な都市農業の確立－

重 | 点 | 施 | 策

(1-1) 農業者の所得増大に向けた営農指導の強化

農業者の所得増大に向け、振興渉外の訪問活動を強化し、農業者概況調査を実施します。組合員が栽培する作物について、体系的に把握するとともに指導・相談業務の向上を図ります。購買・販売業務の効率化による生産コスト低減・外販への販路拡大等、生産・販売の強化に取り組みます。

(1-2) 売れる直売所に向けた運営体制強化

売れる直売所に向けた運営体制を強化するため、組合主体による直売所運営体制へ移行することにより、生産者が出荷しやすい環境をつくり、地場産農産物の取扱量の増加をめざします。また、販売力を強化するため店長制度を導入し、計画的な買取販売方式を導入することで農業者の所得増大に取り組みます。同時に、消費者に対し安全・安心な農産物の提供に取り組みます。

(1-3) 次世代へつなぐ都市農業・担い手の育成支援

組合員が農地・農家を次世代へ受け継いでいくために、相続相談・事業承継の支援等、組合員のくらしにかかる様々な悩み・相談に対応できる体制を強化し他部署と連携を図ります。都市農業関連法・税制度及び営農支援策の周知・活用提案について、行政とも連携して都市農地の保全に取り組み農業者の高齢化対策・多様な担い手支援に取り組みます。

(1-4) 都市農政活動の展開

農業者が安心して長期的な営農ビジョンを描けるよう、関係する行政との良好な関係を築き、都市農業の持続可能性を高めるために必要な都市農業政策・税制改正の実現を続けます。農業後継者である青壮年部と共に都市農政活動を展開します。

(1-5) 都市農業の多面的機能の発揮

都市農業は、新鮮で安全な農産物を供給するだけではなく、災害時の避難場所の提供や管内の学校給食への食材提供と出前授業を通じた食農教育活動の他、行政と連携した農業体験のイベントなど多岐に渡り、農に触れる機会を創出する役割を担っています。都市農業が持つ多面的機能を十分に発揮し、期待される社会的役割を果たすことで都市農業の社会的価値の向上をめざします。

(1-6) 食と農を通じた豊かでくらしやすい地域づくり

地域住民との交流機会を創出し地域コミュニティの活性化に取り組みます。

また、農業と福祉を結びつける農福連携活動、子ども食堂や地域のフードバンクへの農産物の提供など社会貢献活動に取り組みます。

第2の柱 組織基盤戦略 －対話運動を通じた組合員とのつながり強化－

重|点|施|策

(2-1) 組合員(正・准)との対話運動の展開

組合員との対話を通じて、組合員の意思を事業や活動に反映させるため、訪問活動や様々な接点を通じ、組合の事業活動に対し意見・要望を聴き取ります。

そのうえで、改善・実行を繰り返し、組合員と共に歩む事業運営を行ないます。

(2-2) 組合員組織の基盤強化

組合員組織の基盤強化をするため、一戸複数組合員制による正組合員加入を促進し、准組合員については、「正組合員と共に、農業や地域経済の発展を共に支える組合員」として、地域の農業振興を応援する准組合員の加入促進運動を実施します。

また、組合の活動主体である各組織部会への加入を促進するとともに、次世代対策や組織活動を通じた仲間づくり、協同組合運動をすすめます。

(2-3) 次世代の組合員リーダーの育成

組合員・役職員が、創意工夫ある学びと実践の場づくりに取り組み、これから地域農業やJAを担う次世代リーダー(役員等)を育成します。また、女性の経営参画を推進し、役員への登用に関する体制整備を行ないます。

(2-4) 協同組合運動を促進する広報活動の展開

広報活動を重要な経営戦略と位置づけ、組合員・地域の架け橋になる情報発信を行ない、組合員との対話を促進する広報活動を展開します。

また、これまで組合との関わりのない地域住民に向け、他企業・他組織との連携等を含めた広報活動を一層強化し、地域農業のファンづくりをすすめます。

重 点 施 策

(3-1) 収益基盤の拡大と収益力の強化

組合員との関係性(リレーションシップ)構築のため、日常的な組合員訪問活動を強化し、出向く体制を充実します。

そのうえで、総合事業の強みを発揮する全体戦略「組合員のメイン化(太く)・組合員の取引複数化(広く)・組合員の生涯取引化(長く)」を実践することで収益基盤の拡大と収益力の強化に取り組みます。

(3-2) 事業運営の見直しによる効率化・経費削減

さらなる経営基盤強化のため、総合事業を継続し、組合員サービスを維持・提供できるよう、合理化が必要な支店・アグリセンター・直売所の再編について組合員との対話をすすめ、必要な施設への投資は、確かな経営戦略のもと計画的に取り組みます。また、全役職員が一丸となり事業運営の見直しによる効率化・経費削減に取り組みます。

(3-3) 人財育成・活力ある職場づくり(ワーク・ライフ・バランスの充実)

何かあったらすぐJAと組合員・地域の皆さんから「頼りにされる職員」を育成するために、人財育成プログラムを構築・運用します。

また、人事制度を適切に運用し職員一人ひとりが働きがいをもてる、活力ある職場づくりに取り組みます。

(3-4) コンプライアンス経営に向けた取り組み強化

組合員に安心して利用いただくため、法令遵守の徹底や、健全性の高い経営を確保する取り組みとして、迅速な事業運営を可能にし、経営の高度化・専門性に対応する業務執行体制(ガバナンス)の構築に取り組みます。

また、内部統制システム基本方針に基づいた内部統制の構築・運用を行なうため、「コンプライアンス・プログラム」を策定し、組合に著しい損害を及ぼすおそれのあるリスクの認識・把握に取り組みます。

第2期支店再編計画について

第17回通常総代会で承認された「支店再編方針」、第23回通常総代会で承認された「収支構造改革」に基づき、施設に係るコスト削減・効率的な支店運営・安定的な財務基盤の構築に取り組むため、下記のとおり支店再編を行ないます。

支店再編の基準(3つの視点)

①物理的な制限(施設の老朽化)、②財務分析(収益力)、③商圏分析(マーケティング)

第2期支店再編計画		
再編対象支店名	支店再編計画	再編時期
富士見台支店	石神井支店へ統合	令和5年1月末までに
高松支店	練馬春日町支店へ統合	令和5年8月末までに
東大泉支店	大泉支店へ統合	令和6年2月末までに
桜台支店	平和台支店へ統合	令和7年2月末までに

※なお、平和台支店は、令和6年12月を中途に移転・新築いたします。

Q1 なぜ、支店を再編しなければならないのでしょうか？

A1 第17回通常総代会(平成26年6月26日)で支店再編方針が決議されました。支店再編の基本方針において、今後10年を中途に、現在の17支店(平成26年同時点)を拠点となる支店を中心に10支店程度に統合・再配置することを決定しました。

その背景として、施設の老朽化による建替えや事業継続のための管理費は増加傾向にあることが挙げられます。さらに、当時は想定していなかった日銀による超低金利(マイナス金利)政策が導入されたことにより金融機関の収益は激減しており、組合活動を維持していくためには①施設コストの見直し、②財務基盤の強化の加速化が喫緊の課題です。(JAバンク東京信連からも支店の統廃合を前倒しで行なうよう指導されています)

Q2 支店が再編された場合、通帳やキャッシュカードはどうなるのでしょうか？

A2 キャッシュカードは、現在のものをご利用いただけますのでご安心ください。通帳は、ATMでは引き続きご利用いただけます。窓口をご利用の際は、新通帳に繰越しいたします。その際、お客様の手間は一切ございませんのでご安心ください。

Q3 現在、年金をJAで受け取っています。支店の再編でどうなるのでしょうか？

A3 現在と変わらずお受け取りいただけますのでご安心ください。

Q4 共済の契約をしていますが、支店再編によってどうなるのでしょうか？

A4 現在と変わらずご利用いただけますのでご安心ください。

Q5 統合される支店のATMは残るのでしょうか？

A5 ATMは当面の間、存置します。ただし、利用状況等を定期的に検証し、存置について判断してまいります。

自己改革を実践するための具体的な方針

1.都市農業の振興

農業者の所得増大に向け、JAの社会的使命である、地域農業の振興・保全を基本に、組合員と共に都市農業を振興し、農業・農地を次世代につなげ、都市農業の多様な機能が発揮されるよう、農業振興計画に取り組みます。

2.組合員とのつながり強化

組合員との関係性(リレーションシップ)構築のため、日常的な組合員訪問活動を強化し、組合の事業活動に対し意見・要望を聴き取ります。そのうえで、改善・実行を繰り返し、組合員と共に歩む事業運営を行ないます。

3.人づくり・人財育成

これから地域農業やJAを担う次世代リーダーを育成するとともに、「何かあったらすぐJA」と組合員・地域の皆さんから頼りにされる、専門性の高い職員の育成に取り組みます。

4.経営基盤の強化

総合事業の強みを発揮し、「組合員のメイン化(太く)・組合員の取引複数化(広く)・組合員の生涯取引化(長く)」を実践し、収益基盤の拡大と収益力の強化を行ない、組合員サービスを維持・提供できるよう経営基盤の強化に取り組みます。

人材から人財へ(職員の各種資格取得状況)

当JAは、組合員・利用者皆さまのさまざまなニーズや相談にお応えするために、各種資格取得を奨励しています。

こちらに表記しているものは資格試験の名称です。令和4年3月31日現在資格保有人数累計(子会社含む)

		()は令和3年度取得人数
農業協同組合監査士	9名 (1)	J G A P 指導員 5名
中小企業診断士	1名	J A バンク農業金融プランナー 5名 (1)
社会保険労務士	2名	日本農業検定1級 22名 (1)
CFP・1級FP技能士	3名 (1)	日本農業検定2級 112名
AFP・2級FP技能士	85名 (11)	日本農業検定3級 111名 (1)
DCプランナー2級(企業年金)	2名	野菜ソムリエ 7名
行政書士	2名	毒物劇物取扱者 40名 (4)
宅地建物取引士	56名 (4)	わな猟免許 11名
不動産コンサルティングマスター	6名	食品衛生責任者 14名
賃貸不動産経営管理士	17名 (1)	J A 職員資格認証
内部管理責任者(証券外務員)	213名 (25)	農業協同組合内部監査士 47名 (3)
第1種証券外務員	285名 (18)	営農指導員 27名 (3)
第2種証券外務員	45名 (19)	上級 248名 (13)
損害保険募集人	165名	中級 58名 (22)
遺言信託(信託業務)	133名	初級 38名 (17)
個人情報取扱主任者	236名 (87)	
金融AMLオフィサー[実践]	99名 (18)	※ J A 職員資格認証試験とは、職員の資質及び技術の向上を図り、JAの社会的使命を全うする人材を養成することを基本理念としたJA系統の内部試験です。
金融AMLオフィサー[基本]	116名 (21)	

J A東京あおばC I 決定

J A東京あおばでは、若手職員によるプロジェクト「第2期 N E X T A O B A P J」において、組織活動のあらゆる場面で一貫性を持たせ、組織力を向上させるために、C I (コーポラティブアイデンティティ)を策定しました。令和4年度より活用し、J A東京あおばの魅力を広く伝えてまいります。

① キャッチフレーズ

芽吹かせよう ありがとうの和

「人の和」の「種」となる「ありがとう」が春の大地のように、地域に芽吹き、やがて生い茂り、見事な大木となる。そして次世代にも農地とともに、「ありがとう」がつながるよう願いを込めて、わたしたちは経営理念の現実をめざしてまいります。

② コーポレートカラー

メインカラー

あおば色

都会的な清涼感や洗練された印象も与える、少し青みがかったグリーン

わかば色

明るさや若々しさ、未来へのポジティブなエネルギーを感じさせる、爽やかな黄緑

アクセントカラー

たいよう色

温かさ、元気さ、情熱を想起させる濃いオレンジ

③ ロゴマーク



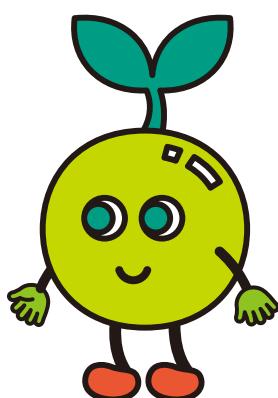
JA東京あおば

種から芽が出る様子や、野菜の実と葉がモチーフになっています。
コーポレートカラーの3色を配色することで、都市農業ならではの、多様な野菜や植物の栽培をイメージしています。

余白の部分は、「あおば」「ありがとう」の「あ」の文字を象ったフォルムとなっています。



④ オフィシャルキャラクター



たねりん



プロフィール

名 前 たねりん

性 格 元気いっぱい

チャームポイント しつぽが根っこ

特 技 ・ありがとうの種をまくこと
・植物と土の気持ちがわかる

好 き な 言 葉 ありがとう

口 ぐ せ ～ダネ、～たね

名前の由来 「人の和の種(たね)」からありがとうの気持ちが芽生えて、輪(りん)のように広がっていく様子から。

価 値 観

わたしたちは、「4つの満足(4S)の向上」を、事業活動を展開するうえでの共通の価値観とし、経営理念の実現をめざします。

組合員満足 (MS)

組合員が、JAへの積極的な参加・参画によって協同の成果を実現し、都市農業の振興をはじめそれぞれの願いが充たされること

組織満足 (SS)

組織が健全に経営され、信頼されるJAとして、地域になくてはならない存在であり続けること



地域満足 (AS)

J Aが、協同の輪を地域に広げ、地域の活性化・持続的発展に貢献することにより、地域の皆さまのくらしが豊かになること

職員満足 (ES)

職員が、働くよろこび、仕事のやりがいを通じて成長し、心を高められる職場であること

J A 約 領

- わたしたち JA のめざすもの -

わたしたち JA の組合員・役職員は、協同組合運動の基本的な定義・価値・原則(自主、自立、参加、民主的運営、公正、連帶等)に基づき行動します。そして、地球的視野に立って環境変化を見通し、組織・事業・経営の革新をはかります。さらに、地域・全国・世界の協同組合の仲間と連携し、より民主的で公正な社会の実現に努めます。

このため、わたしたちは次のことを通じ、農業と地域社会に根ざした組織としての社会的役割を誠実に果たします。

わたしたちは

1. 地域の農業を振興し、わが国の食と緑と水を守ろう。
1. 環境・文化・福祉への貢献を通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会を築こう。
1. JAへの積極的な参加と連帶によって、協同の成果を実現しよう。
1. 自主・自立と民主的運営の基本に立ち、JAを健全に経営し信頼を高めよう。
1. 協同の理念を学び実践を通じて、共に生きがいを追求しよう。

(1997年 第21回 JA全国大会決議)

J A 東京あおばは、組合員・利用者皆さまの声を誠実に受け止めます。

J A 東京あおばでは、組合員・利用者皆さまにご満足いただけますよう日頃から心がけておりますが、当JAの事業・活動について、ご意見ご要望等がございましたら、下記の窓口にて受け付けておりますので、お気軽にお申し出ください。

経営企画部 経営企画課 TEL.03-5372-1312

当JAに関する情報はこちらの
ホームページでご覧になれます。

受付時間

月～金曜日(土日祝日を除く)
午前9時～午後5時

検索

JA東京あおば

<https://www.ja-tokyoaoba.or.jp/>

